

## 共同保育を支えるみんなの会 基本理念

1996年11月17日作成

2006年4月改定

2016年4月改定

2017年5月改定

「共同保育を支えるみんなの会」(以下「みんなの会」とします。)は木のいえ共同保育園(旧:すぎの子共同保育所)(以下「共保」とします。)の支援組織です。

親は、子どもが安心して健やかに育つためには何をしたらよいか、不安をいっぱい抱えて共保の門をくぐります。

「毎日のリズムや散歩でからだをしっかりと使って丈夫に育てほしい」

「冷たい風や暖かい太陽をからだいっばいに感じて自然の中で元気に遊んでほしい」

「仲間と一緒に生活することを楽しんでほしい」

「子ども同士がぶつかり合い認め合い成長してほしい」

と大人たちが願い、「子どもを真ん中」に保護者と職員が共同保育を実践してきました。

共保の保育は、一人一人の子どもと一人一人の親を大切にしています。子どもに関わる大人同士が手をつなぎ、共に理解し信頼しあう関係を築くことで、大人自身も成長する場が作られ、親集団までもしっかりと形成されます。子どもたちは、安心できる大人と仲間の中で自我をしっかり表現し、ぶつかりあい、人を信頼することを学びます。

私たち「みんなの会」は、まず、共保に通う子どもと親が共同の保育を実感し、実践していくことを願います。

「みんなの会」には、共に子育てする仲間がいます。在園児保護者にとどまらず、卒園児とその保護者・協力者による世代を超えた子育ての絆がしっかりと育まれています。大人同士が手をつなぎ、共に子どもたちの育ちを喜び合う場所です。

「みんなの会」は共保の保育がこれからも発展していくために「みんなの会」設立時の理念を受け継ぎ、徳島市の認可保育施設となった木のいえ共同保育園の新たな出発にあたり、「みんなの会」の役割を次のように明確にし、活動していきます。

第一に、共保の保育を愛するもっとも身近な会として、職員、在園児保護者、卒園児とその保護者・地域の人々とのネットワークを大切にして、保育を共感し、共につくるための支援をします。

第二に、共保の充実発展をめざすために、物質的な支援を行い、共同保育の存続・発展に寄与します。

わたしたちのつくるみんなの会は、子どもの全面発達と幸せを願う大人の、幅広い知恵と力を集めて活動を進めていく会として、今後も木のいえ共同保育園にとって頼りになる、もっとも身近な会として力を尽くしていきます。